令和４年５月２４日

令和４年度　「天沼小学校がめざす教育」のご紹介

杉並区立天沼小学校運営協議会
会長　　髙橋　武郎
杉並区立天沼小学校
校長　　松野　泰一

天沼小学校は、保護者・地域の人たち※Ⅰ・学校※Ⅱがともに知恵を出し合い、協働することで、よりよい学校づくりを進めるコミュニティ・スクール（CS）です。（詳しくは「もっと知りたい！天沼小の取組」最終頁をご覧ください。）

コミュニティ・スクール（CS）は、学校運営協議会が中心となっています。

そのため、学校運営協議会では、今年度の「天沼小学校がめざす教育」を皆様にご理解いただくためのご紹介を作成しました。この内容をご確認いただき、一年間、本校の教育活動と学校運営へのご参加・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

また、裏面には、保護者・地域・学校が一体となって子どもたちの育成にあたっていきたいと考え、皆様と共に取り組みたいテーマ「今年度の目標」を提案しています。ぜひ一緒に取り組んでいきましょう。

※Ⅰ　以下「地域」とする。　　※Ⅱ　校長・教員・職員の総称とする。

天沼小学校がめざす教育

「わかるおもしろさ」「人とかかわるおもしろさ」
「元気に育つおもしろさ」「体験・交流するおもしろさ」をめざして

～ おもしろいこと、しよう。～

学ぶ面白さや体験する面白さを通じて、すべての人とかかわって生きることの喜びを感じ、
この地域の構成員としてより良く生きていこうとする人間の育成をめざしていきます。

【令和４年度　天沼小学校がめざす教育】

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応により、教育活動にも様々な制限がかかることが予想されます。しかし、このような状況の中でも学校がめざすものは変わりません。

今年もこれまでのような活動ができるかは現時点では分かりませんが、可能な範囲で取り組んでいきます。

この「天沼小学校がめざす教育」は、昨年度の学校評価の結果を踏まえ、今年度の天沼小学校の取組を皆様に分かりやすくご紹介するために、学校運営協議会で協議し「21 のポイント」にまとめたものです。

新型コロナウイルスの影響により変更が生じるかもしれませんが、現在予定されている項目を掲げます。

【「学校評価」アンケート調査について】

また、学校運営協議会では平成 23 年度より独自の「学校評価」を作成し、皆様のご意見を集めています。これは、校長の「学校経営方針」に基づく、特色ある教育活動や重点とする指導事項について、児童・保護者・地域・学校へのアンケート調査を実施し、その結果を受けて一年間の振り返りを行い、次年度の学校運営に生かしていくという取組です。

この「天沼小学校がめざす教育」に基づき進める教育活動について、「学校評価アンケート調査（令和５年１月を予定）」により皆様の声としてご評価ください。

「わかるおもしろさ」「人とかかわるおもしろさ」「生きるおもしろさ」をめざして

～おもしろいこと、しよう。～

令和４年度「天沼小学校がめざす教育」ダイジェスト版

わかるって面白い

1.基礎学力の定着（「学んでわかるおもしろさ」をめざして）

以下の取組を通して、基礎的な学力の習得・定着に取り組んでいきます。

①「あまぬま学びの約束」の実践
学校生活の基本ルールを身につけ、学習や運動に集中できる環境づくりをめざします。

② すべての教育活動での言語活動の充実
コミュニケーションの基本となる「聞く」「話す」「読む」「書く」をしっかりと身につけます。

③ 算数少人数指導の実施
学年や発達段階、理解のスピードに合わせた算数指導で、一人ひとりの「やる気」を引き出します。

④ 教員の専門性を生かした指導の実施
音楽・図工・理科・英語などでは、専門の教員が子どもたちの好奇心を高める指導を行います。

⑤ 基礎学力定着のための取組
「チャレンジタイム」などを通じて、学習した基本部分の再確認や振り返りを進めていきます。

人とかかわるって面白い

2.豊かな人間性の育成（「人とかかわるおもしろさ」を体感する）

以下の取組を通して、豊かな人間性と地域社会の一員としての自覚を育成します。

⑥ 規範意識の醸成
子どもたちの成長ステージに合わせた、生活態度や判断力、社会性を身につけます。

⑦ 地域社会の一員としての自覚を育む取組
体験学習や異世代交流などを通じて、天沼地域の一員としての自覚を育みます。

⑧ さまざまな人とかかわって生きる喜びの醸成（インクルーシブな心の育成）
共に生きるすべての人たちと認め合い、尊重し合う心を育て、豊かな社会性を養います。

元気に育つって面白い

3.心と体の健康づくり（たくさんの「おもしろいこと」に出合うために）

以下の取組を通して、児童一人ひとりの心と体の健康づくりに力を注いでいきます。

⑨ 体力の向上と健康の増進
体育の授業や朝遊びなどを通じて、「心と体の健康づくり」を進めます。

⑩ 食育の推進
年間200回余の給食を通じて健康な体を作り、食べる喜びを実感できる取組を行います。

⑪ スクールカウンセラーとの連携を通じた心の教育の推進
必要と感じた時に、誰でも気軽にスクールカウンセラーに相談できる環境を整備します。

体験・交流するって面白い

4.特色ある教育活動（「天沼小ならではのおもしろさ」がここにある）

以下の取組を通して、児童たちが「将来社会に出て生きる力」を育てていきます。様々な体験学習を実施し、特色ある教育活動に取り組んでいきます。

⑫ 読書活動を推進するための取組
本に親しみ、読書への関心を高めるとともに、学校図書館は授業をサポートする学習・情報センターとしての様々な取組を、学校司書と共に進めます。

⑬ 学齢に応じた体系的なキャリア教育の実施
文部科学大臣表彰を受けた天沼小のキャリア教育。今年も引き続き力を入れていきます。

⑭「ほんもの」に触れる多様な日本の伝統・文化理解教育の実施
多彩なゲストティーチャーの協力のもと、日本文化や多様な文化の理解を通じて、国際的な感覚を身につけます。

⑮ ICTインフラを活用した情報教育と、情報モラル教育の実施
タブレット端末の積極利用や電子黒板・デジタル教科書の活用など、ICTインフラを活用した先進の取組を推し進めると同時に、情報モラル教育にも力を入れます。

⑯ 天沼中学校区における小中連携教育活動の取組
天沼中・杳掛小との3校合同教員研修や、児童生徒の交流学習などを通じて連携を行い、取組を進めていきます。

⑰ 近隣の幼稚園・保育園と連携した「わくわく交流プロジェクト」の取組
幼保小連携の取組として、学校案内や読書活動などを通じた園児たちとの交流活動を行います。

家庭・地域から信頼される学校づくり

5.家庭・地域から信頼される学校運営の実現　（「おもしろいこと」を支える確かな基盤づくり）

以下の取組を通して、安定した学校運営を実現していきます。

⑱ 学校施設の安全、防犯、防災への取組
避難訓練やセーフティ教室を通じて、万が一の時に自分で身を守れる力を身につけます。

⑲ 迅速かつ的確な情報の公開・提供
メール配信システムや学校HPを通じて、情報発信・情報公開を積極的に進めていきます。

⑳ 学校支援本部（あまぬまワンダラーズ（AW））との連携による「かかわりとつながり」を重視した地域学校協働活動の実施
学校支援本部との協働のもと、天沼小ならではの多彩な教育活動を推し進めます。

㉑「コミュニティ・スクール（地域運営学校（CS））」としての学校運営
児童・保護者・地域の人たち、教職員等の様々な声をもとに「地域と共にある学校」としての取組をしっかりと進めていきます。

【今年度の目標】　保護者・地域・学校が一体となって取り組むテーマ

学校運営協議会では、コミュニティ・スクール（CS）として、保護者・地域・学校が一体となって子どもたちの育成にあたっていきたいと話し合い、毎年、皆様には子どもたちの育成に向けたテーマへの取組を呼びかけています。今年度は、新たに下記のテーマを目標といたします。

保護者・地域・学校が協力し合って、子どもたちには以下の目標への声掛けをしましょう

低学年の目標

しっかりあいさつしよう！

あいさつは日常生活の基本です。学校でも、家庭でも、地域でもあいさつをし合いましょう。

- へんじ
- あいさつ
- ありがとう
- ごめんなさい

中学年の目標

相手のことを思いやろう！

自分が言われて、されて、嫌なことは相手にもしない。

相手が喜ぶことは何だろう？と考えられる力を持てるように声掛けしましょう。

高学年の目標

社会のできごとについて話し合おう！

社会で起きているできごとを話し合う機会を持ちましょう。学力調査の結果を見ても、この機会のある家庭の子どもたちの学力が向上していると示されています。
社会のことに目を向けられるようコミュニケーションを取っていきましょう。

【あまぬま学びの約束】　学校生活での基本ルール

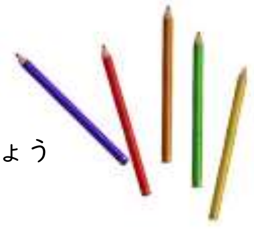
1　授業の前

①　休み時間のうちにトイレにいくなど用事をすませておきましょう
②　次の学習に必要なものを机の上に出しておきましょう

2　授業中

①授業の始まりには挨拶をしましょう。
・いすにすわったままでよい姿勢をしましょう
（例）「よい姿勢をしてください（気をつけ）」　「これから〇〇の勉強をはじめます」
「よろしくお願いします」

②　授業中
・発言をするときはだまって手をあげましょう
・名前をよばれたら「はい」と返事をして立ちましょう
・発言の最後は「～です」「～ます」で終わり、席につきましょう
（＊教室掲示「声のものさし」で、声の大きさを確認しましょう）
・先生や友だちの話を聞く時は、だまって最後まで、しっかり聞きましょう
・正しい姿勢や、正しい鉛筆の持ち方で学習しましょう



③　授業の終わりには挨拶をしましょう。
・いすにすわったままでよい姿勢をしましょう
（例）「よい姿勢をしてください（気をつけ）」　「これで〇〇の勉強を終わります」
「ありがとうございました」

3　ふでばこの中に入れておくもの

＊けずった鉛筆５～６本　＊赤鉛筆１本　＊消しゴム１個　＊定規　＊名前ペン
＊シャープペンシルは持ってこない。　＊勉強と関係のないものはもってこない。
＊高学年は、必要に応じて、筆箱に入るだけの色ペンをもってきてよい。

4　道具箱の中にかならず入れておくもの

＊のり　＊色鉛筆　＊はさみ　＊セロハンテープ

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）ＣＳ
運営参画

学校運営協議会委員を通して、保護者や地域住民の意見が学校運営に反映される、法律に基づき設置された組織です。
保護者や地域住民と学校・教育委員会とが、学校の教育目標の設定や達成に協働して責任を果たす仕組みです。

学校支援本部（あまぬまワンダラーズ）AW
地域学校協働活動の実践

学校の教育活動と地域の力をつなげることにより、特色ある教育活動を協働していきます。学習にゲストティーチャーやサポーターをコーディネートして、多様な交流活動・体験活動を豊かに進めるとともに、安全安心な教育活動となるように連携します。

杉並区
教育委員会
＊協議会設置
＊委員任命
＊適正な運営
　確保の措置

東京都
教育委員会
＊教職員任用
　意見を尊重

学校運営に関する意見提出や、情報交換などを通じて連携します。

学校運営協議会で承認された学校運営の基本方針に基づき、学校支援本部では、地域と学校の連携・協働による教育支援活動を実践していきます。

緩やかなネットワークをつくりながら連携します。

保護者
ＰＴＡ

地域
住民

町会

商店会

同窓会

地教推
育成

民生児
童委員

企業
NPO等

スポーツ団体

文化
団体

中間支
援組織

社会教
育団体

委員：校長／保護者／地域住民／学識経験者／
学校・地域コーディネーターなど

学校、委員が合議体による協議を行う

役割：＊学校運営基本方針承認
＊学校運営・教育活動への意見
　・目指す子ども像の共有
＊教職員の任用に関する意見
＊地域学校協働活動に関する協議
　・目的、目標の共有

担い手：学校・地域コーディネーター
　杉並区教育委員会による一定の研修を修了した
　地域住民のコーディネーター
学校サポーター
　地域住民や保護者によるボランティアサポーター

学校・地域コーディネーターを中心とした地域学校協働活動を行う

役割：＊特色ある教育活動のゲストティーチャーコーディネート
　・日本の伝統・文化理解教育
　・読書活動
　・キャリア教育
＊学習補助のサポーターコーディネート
　・引率補助
＊あまぬまハッピィさたでい（土曜日学校）企画・運営
＊あまぬまハッピィくらぶ（放課後子ども教室）企画・運営